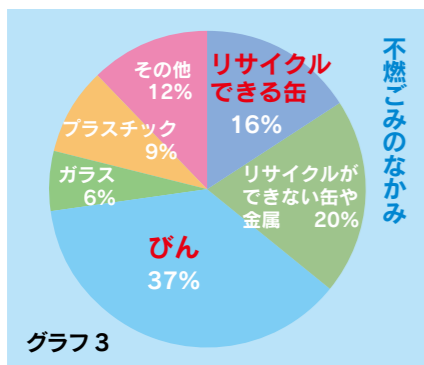
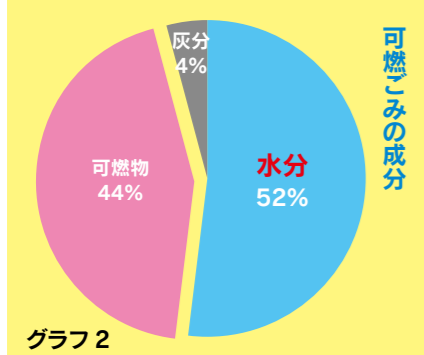
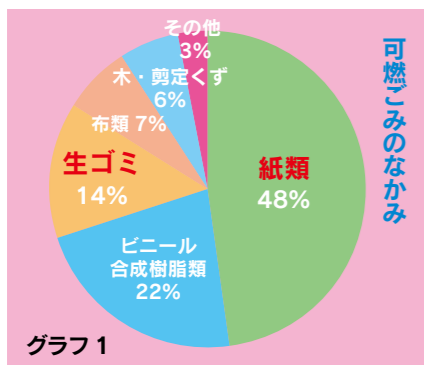


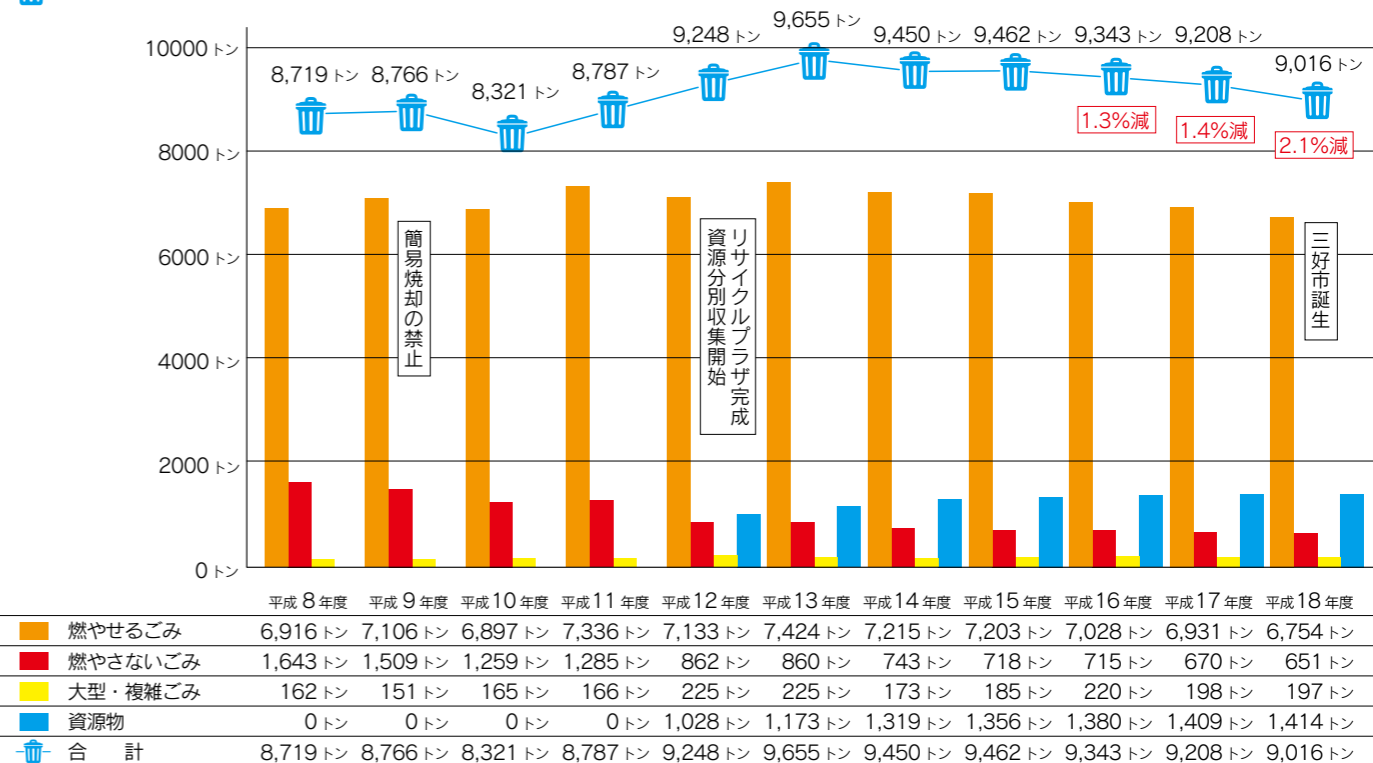
家庭ごみ処理量の推移と分析



家庭ごみの分け方・出し方ガイドブックを配布します。

ごみのルールを詳しく紹介するためのガイドブックが完成しましたので、市報今月号と一緒に配布します。ご家庭で、もう一度ルールの確認をしていただき、ルールを守ってごみ出ししてください。
※ これまでのルールが変更になるわけではありません。

三好市（旧6町村）の家庭ごみ量の推移



家庭ごみ量 前年度比

- 可燃ごみ 3%減 (-177トン)
- 不燃ごみ 3%減 (-19トン)
- 粗大ごみ 微減 (-1トン)
- 資源物 微増 (+5トン)

取り組もう「ごみ問題」

減量化・リサイクル

家庭ごみの処理量が減少しました。

市内の家庭ごみの処理量は、ここ毎年ほぼ横ばい（わずかに減）で推移していましたが、平成18年度に排出された家庭ごみの処理量は、前年度に比べてさらに減少し、リサイクルが向上しました。
引き続き、ごみ問題に関心を持っていただき、ごみ減量化・リサイクルの取り組みにご協力ください。市民のみなさんに取り組んでいただくことが、ごみ処理費用の軽減につながります。

ごみ処理量・処理費用は
まだまだ減らせます。

可燃ごみの出し方

【紙類】 グラフ1のとおり可燃ごみのなんと48%を紙類が占めています。あなたは、相変わらず新聞やダンボールを可燃ごみとして出していないですか？ また、菓子箱や包装紙、ティッシュの空き箱、ボール紙、封筒、ダイレクトメール、パンフレット・・・これらの雑紙類は可燃ごみではなく、貴重な資源物です！ とても大きな減量効果が得られますので、可燃ごみに出さずに、面倒でも紙類は資源物としてリサイクルしてください。（小さな雑紙の出し方は、雑誌等には喜んで資源物の収集日に出してください）

【生ごみ・食品くず類】 グラフ1のとおり可燃ごみには14%の生ごみ・食品くず類が含まれています。また、可燃ごみにはグラフ2のとおり52%の水分が含まれています。さらに、水分を多く含んだごみは焼却効率が悪く、焼却炉への負担もかかってしまいます。このことから、生ごみはじゅうぶんに水切りしてからごみ出すこと、買い物の際には食品の買いすぎに注意して、ごみとして捨てる量をできるだけ減らしてください。また、家庭でのたい肥としての有効利用もご検討ください。

不燃ごみの出し方

【缶類】 もったいないことに、グラフ3のように不燃ごみにはリサイクル可能な飲食用の缶が16%も含まれています。資源物として出せば、貴重な資源として再生利用することが可能です。今後も、このまま価値ある資源を大量に無駄に捨ててしまつてよいのでしょうか？ **飲食用の缶は資源物**として、洗ってから指定袋（オレンジ色）に入れて出してください。（不燃ごみの指定袋には入れないこと）
【びん類】 缶類と同様にリサイクル可能なびんも不燃ごみに含まれています。**飲食用のびんは資源物**として、洗ってからレジ袋・ビニール袋（指定袋はありません）に入れて出すように、分別に心がけてください。

三好市から出されるごみは、
もつともつとダイエットが必要です。

ごみには、ダイエットのし過ぎはありません。取り組みば取り組むほど、減量の効果が表れます。
ごみの減量化は、私たち一人一人の問題です。家庭で、地域で、市全体で、市民全員で取り組まなければ成果は得られません。捨てればただのごみ、でも分別すれば貴重な資源です。これからも、ごみ減量化とリサイクルの推進に積極的にご協力ください。

